

## 平成23年第1回豊能町地域公共交通会議議事概要

日 時：平成23年3月4日（金）午後2時から3時40分まで

場 所：豊能町役場 本庁2F大会議室

出席者：委員13名 事務局5名

（詳細は別紙「平成23年第1回豊能町地域公共交通会議出席者表」のとおり）

傍聴者：8名

### 【1】開会

- ・午後2時に会長が開会し、過半数の委員出席による開催を確認した
- ・傍聴を承認した
- ・豊能町長より挨拶があった

### 【2】委員及び出席者紹介

- ・事務局より委員及び出席者の紹介があった

### 【3】職務代理者の指名

- ・職務代理者として室木委員（豊能町総務部長）を指名した

### 【4】《報告1》地域公共交通会議開催要請の経緯と豊能町地域公共交通会議設置要綱の改正について

- ・以下の事項について事務局より報告事項の説明があった（資料 報告1及び資料1）
  - ①巡回バスの見直し
  - ②社会実験実施と検証、さらなる見直し
  - ③要綱の改正

- ・主な質疑、意見

[委員]この会議による検討はいつごろ計画したのか

（事務局）平成22年11月22日から12月11日までに実施したパブリックコメントの際に、この会議による意見等を案として公表した

### 【5】《報告2》『豊能町地域公共交通社会実験運行計画』によるバス運行について

- ・以下の事項について事務局より報告事項の説明があった（資料 報告2）

①町の公共交通の概要と巡回バスの実績

②社会実験計画によるバス運行

・主な質疑、意見

[委員]東西間のバス運行を完全な民間運行とすることは検討したか

(事務局) そのような検討もしたが、町内の阪急バスの路線が赤字であり、今回の実験も黒字になるという見込みがないため、現実には難しかった

[委員]補助金交付による運行とは

(事務局) 運行経費から利用者が支払った運賃を差し引いた運行欠損金を補助している。ダイヤ等は町の思いを反映している

[委員]北大阪ネオポリス線により希望ヶ丘から千里中央までは680円だが、東西のバスと箕面森町線との乗継では600円となる。乗継の不便等はあるが、乗客が流れる可能性もあるので、さらなる見直し後の交通計画では、そういったことも含めて検討する必要がある

[委員]箕面森町以外の箕面市域でのバス停の設置は。病院利用者の需要が考えられる  
(事務局) 箕面病院のある中止々呂美停車は、折り返しが必要で困難。又、東西のバスは町域の移動を主にしており、箕面森町以外の停車は考えていない

[委員]せっかく病院の前を通るのであれば、新たにバス停を設けることも考えてよい

[委員]今後西地区の路線変更や追加はあるのか

(事務局) 社会実験運行においてはこの計画どおり。さらなる見直しで、分科会においてゼロベースで検討していく

[委員]東西間のバスは箕面森町線のフィーダー（支線）となる。箕面森町線が国土交通省の生活交通サバイバル戦略の補助対象幹線となれば、東西間のバスも国の補助を受けられる可能性がある

[委員]箕面森町線は大阪府の補助を受けた系統であり、対象にはならないと思われる

【6】《議題1》東地区の実情に合った乗合交通の検討について

・以下の事項について事務局より議題の説明があった（資料 議題1）

①検討の目的

②東地区デマンドタクシーの提案

③東地区デマンドタクシー社会実験計画案

・主な質疑、意見

[委員]ダイヤはきまっているのか

(事務局) あらかじめダイヤを設定し、予約があったときのみ走行する

[委員]野間口の地区内は走行しないのか

(事務局) 東地区巡回バスは野間口の地区内を走行していなかったため、従前通りとしている

[委員]ダイヤは午前8時からとなっているが、東西間のバスは朝6時からであり、同じ東地区でも差がある

(事務局) デマンドタクシーは、通勤、通学を想定していない。郵便局やスーパーの利用など、生活を支えるものとして計画している

[委員]停留所の様子は

(事務局) 東地区巡回バスの停留所と同じ場所にとまる。ただし登録制で、あらかじめその位置等はお知らせするので、新たにデマンド用の表示は行わない

[委員]対価のうち小人100円とあるが、その適用は

(事務局) 阪急バスの適用に準じ、小学生100円、小学生未満2人まで無料とする

・東地区の実情に応じた乗合交通の必要性及び対価について全員異議なしにより合意した

【7】《議題2》分科会の設置及び今後のスケジュールについて

・以下の事項について事務局より議題の説明があった（資料 議題2及び資料2）

①「豊能町地域公共交通会議分科会設置規程」

②社会実験運行にかかる分科会について

③今後のスケジュールについて（概略案）

・主な質疑、意見

[委員]国土交通省の生活交通サバイバル戦略では交通計画調査も補助されるということになっており、町もその適用を受けて負担を減らしていけばと思う

・「豊能町地域公共交通会議分科会設置規程」及び分科会の委員の指名について、全員異議なしにより承認した

○その他

- ・委員よりその他意見があった

[委員]社会実験の実施にあたっては、せっかく行うのだから、住民への情報伝達や働きかけにより、乗っていただけるようにすべき  
(事務局) 自治会や老人会を通じて、説明をしていきたい

【9】閉会

- ・副町長より挨拶があった
- ・午後3時40分に会長が閉会した